

**平成 30 年度募集**

**提案型 審査結果**

**(平成 31 年4月実施 事業)**

# 【平成 30 年度募集 提案型協働事業第一次審査結果報告について】

## 1 【募集から審査まで】

募集期間	平成 30 年 6 月 15 日から 7 月 17 日まで
提案数	4 事業
担当課決定	8 月 2 日開催「国分寺市コミュニティ施策推進基本方針等検討委員会」にて（必要に応じて協力課）を決定し市長へ結果を報告しました。
調整会議	8 月 7 日から 9 月 7 日の期間中の提案団体と担当課・協力課による話し合いを行い，提案内容の一部修正を実施しました。 （修正された提案書 2 件が 9 月 7 日までに再提出されました。）
第一次審査 （非公開）	10 月 9 日「国分寺市協働事業審査会（以下「審査会」という。）」にて担当課の趣旨説明，委員からの質疑，担当課からの回答を行い，委員による書類審査を実施し，合否判定を実施し，今回市長へ結果を報告します。

## 2 【審査結果】

審査順	事業名称	提案団体	担当課 (協力課)	提案予算額	得点/ 満点中	合否
1 番	① 小さい子どもを育てる 人のための本の時間(育 児中の親の図書館利用 時の子ども見守り事業)	ははがよむ	図書館課 (公民館課)	170,522 円	120 点 /210 点	合格
2 番	② “ぐるり、わがまち国分 寺まち歩き” 事業	NPO 法人まちづくり サポート国分寺	市政戦略室	335,488 円	80 点 /210 点	不合格
3 番	④ 国分寺オリパラ×アー ルブリュット普及事業 (仮)	Nomad Art ノマドア ート	文化振興課 (スポーツ振興 課，障害福祉課)	770,290 円	105 点 /210 点	合格
4 番	③ 北野の原地域センター 運営に関するサポート 事業	ふれあい北の原	協働コミュニティ 課	966,750 円	155 点 /252 点	合格

<得点については、次頁に詳細あり>

※審査順 1 番から 3 番については，出席委員数が 6 名中 5 名であったため，

5 名×7 項目×6 点=210 点満点

審査順 4 番については，6 名全員出席のため，

6 名×7 項目×6 点=252 点満点。

※第一次審査に合格した団体が次の，第二次審査（プレゼンテーション審査・公開。平成 30 年 11 月 6 日（火）開催予定）へ進みます。

### 3 【合計得点内容】

審査項目		①ははがよむ	②まちづくり サポート	③ふれあい 北の原	④ノマド アート
		得点	得点	得点	得点
1	事業の目的	16	12	25	16
2	独創性・先駆性	16	9	23	18
3	役割分担	18	11	21	14
4	協働による効果	17	10	24	15
5	費用の妥当性	19	13	19	16
6	事業遂行能力	18	11	20	13
7	実現可能性	16	14	23	13
合計得点		120	80	155	105
合否判定		合格	不合格	合格	合格
合格基準点		105点	105点	126点	105点
委員数		5人	5人	6人	5人

### 4 【審査項目・審査基準について】

審査項目を判断基準に照らして提案書類の審査実施，合格点は以下のとおり

$$\begin{aligned}
 \text{合格点} &\geq \text{参加委員人数} \times \text{審査7項目} \times 3\text{点} \\
 &\geq 6\text{人} \times \text{審査7項目} \times 3\text{点} \\
 &\geq 126\text{点}
 \end{aligned}$$

※5人の場合は「5人×7項目×3点=105点」

#### <審査項目>

1	事業の目的	市民や地域のニーズ，社会問題や地域課題等を踏まえたものであるか。また，市が関わる必要性が認められるか。
2	独創性・先駆性	提案は独創的かつ先駆性があり，今後の協働事業のモデルとなり得るか。
3	役割分担	団体と市との役割分担は明確かつ妥当か。
4	協働による効果	協働することで質の高いサービスが提供でき，また，相乗効果・波及効果が期待できるか。
5	費用の妥当性	提案内容を実現するための妥当な経費見積りとなっているか。
6	事業遂行能力	団体には事業遂行上の問題を解決していくための専門性及び経験が十分にあり，また市と一緒に事業を検討し練り上げていく能力があると認められるか。
7	実現可能性	実施体制，実施方法やスケジュールが合理的で，実現可能性は高いか。

#### <判断基準>

6点	非常に高く評価できる
5点	高く評価できる
4点	評価できる
3点	どちらかといえば評価できる
2点	どちらかといえば評価できない
1点	あまり評価できない

#### 4 【不合格の理由】

##### 提案② “ぐるり，わがまち国分寺まち歩き” 事業

提案団体：NPO 法人まちづくりサポート国分寺

これまで団体が実施されてきた，まち歩き事業に多くの方々が参加され，安定した事業を実施されてきたことが補足資料などからよくわかります。

今回提案いただいた“ぐるり，わがまち国分寺まち歩き”事業は，市や他団体（貴団体も含め）がすでに多数実施している，まち歩き事業との内容の違いがわかりにくいものでした。

例えば『他のまち歩き事業と比較し他のプログラムでは実施していない，この部分を実施するため，その部分について市と協働で実施したい』という具体的な他事業との差別化や特徴が明確であれば判断を助けたと考えられます。協働事業の審査基準「協働による効果」，「独創性・先駆性」の評価が低くなった所以です。

全体として，市民にとってより良いものの提案と，協働の意義が伝わらなかったことで残念な結果となりました。

今後同様の事業提案をされる場合は他のまち歩き事業との差別化を図り，従来の参加層とは異なる方々を呼び込める見込みの内容など，実績のある団体の特徴を生かした事業提案を期待するところです。特に，歩くこと自体が目的ではなく，参加者が歩くことにより，市内の良いものに気づき，それらを次世代に残していくために自分達が何をしなければいけないのかを自然に考えてもらうきっかけとなるなど，「市と協働する意義」を具体化する事業提案を期待するところです。

# 【平成 30 年度募集 提案型協働事業第二次審査結果報告について】

提案型協働事業第一次審査（平成 30 年 10 月 9 日実施）にて合格した 3 事業について、第二次審査（プレゼンテーション審査）を行い、下記内容となりましたので報告します。

## 1. 開催日時・場所

日 時：平成 30 年 11 月 6 日（火）午後 2 時～午後 4 時 20 分

場 所：リオンホール（cocobunji WEST 5 階）

## 2. 提案型協働事業第二次審査の方法

提案団体によるプレゼンテーション（10 分）後、審査会委員による団体・担当課に対する質疑、団体・担当課による回答（10 分）を公開にて実施。

その後、非公開にて審査会委員による審査・選考を実施しました。

### <審査基準>

下記審査項目を審査会各委員が判断基準に従い 1 点～4 点で評価し、126 点以上【(出席委員 6 人) × (審査 7 項目) × (3 点) = 126 点】を獲得した提案を予算 200 万円以内で採択し、合格とする。

### <審査項目>

1	事業の目的	市民や地域のニーズ，社会問題や地域課題等を踏まえたものであるか。また，市が関わる必要性が認められるか。
2	独創性・先駆性	提案は独創的かつ先駆性があり，今後の協働事業のモデルとなり得るか。
3	役割分担	団体と市との役割分担は明確かつ妥当か。
4	協働による効果	協働することで質の高いサービスが提供でき，また，相乗効果・波及効果が期待できるか。
5	費用の妥当性	提案内容を実現するための妥当な経費見積りとなっているか。
6	事業遂行能力	団体には事業遂行上の問題を解決していくための専門性及び経験が十分にあり，また市と一緒に事業を検討し練り上げていく能力があると認められるか。
7	実現可能性	実施体制，実施方法やスケジュールが合理的で，実現可能性は高いか。

### <判断基準>

4 点	評価できる
3 点	どちらかといえば評価できる
2 点	どちらかといえば評価できない
1 点	あまり評価できない

## 3. 審査結果

※あみかけは不合格事業

事業名	提案団体	担当課 (協力課)	提案予算 額	得点	可否
1 「小さい子どもを育てる人の ための本の時間」	ははがよむ	図書館課 (公民館課)	170,522 円	127	合格 (条件付)
2 国分寺オリパラ×アールブリ ュット普及事業 (仮)	Nomad Art ノマドアート	文化振興課 (スポーツ振 興課/ 障害福祉課)	770,290 円	114	不合格
3 北の原地域センター運営に関 するサポート事業	ふれあい 北の原	協働コミュニ ティ課	966,750 円	151	合格

※満点数：審査員6名の場合：【1項目24点満点(4点×審査員6人)×(7項目)=168点満点】

【得点内訳】

審査項目		ははがよむ	ノマドアート	ふれあい北の原
		得点	得点	得点
1	事業の目的	19	19	23
2	独創性・先駆性	18	18	21
3	役割分担	16	15	20
4	協働による効果	18	15	24
5	費用の妥当性	18	16	21
6	事業遂行能力	19	16	19
7	実現可能性	19	15	23
合計得点		127	114	151
合格基準点		126		
可否判定		合格 (条件付)	不合格	合格
採択・不採択の判定		採択 (条件付)	不採択	採択

## 北の原地域センター運営に関するサポート事業

特に付帯意見はありません。

団体の今後の活動に若い世代の方々にも参加いただき、これまで団体の皆さんが培われた経験を受け継いでいってもらえるようにできると、とてもよい団体構成となると思われます。団体と担当課にて確実な協働事業を実施されることを期待します。

## 「小さい子どもを育てる人のための本の時間」 ははがよむ

(条件付き採択)

### 【採択の条件】

子どもを持つ、親等の読書の機会が少なくなっていることに着眼した新鮮な事業内容でした。

団体として既に事業を実施されている実績はありますが、市民ニーズがどれほどあるのかが把握しかねます。

事業実施時には、団体、担当課、協力課と一緒にアンケート内容を作成し、市民ニーズの把握に努め、行政だけで実施するものではなく、協働事業として団体と市が実施する意義をさらに明確にし、今後の事業につなげるようにしてください。

また、短い時間ながらも事業に協力してもらうスタッフと、小さいお子さんを育てている方々との接点が生まれ、地域づくりにつながるよう積極的に働きかけをし、募集を行ってください。

協働事業として実施するにあたり、審査会より下記内容の条件を付けての採択とします。

#### ①定員数の拡大について

今回の提案内容は1コマにつき、子どもの「受入定員4人」とする内容でしたが、できるだけ多くの方々が公平に利用できるよう、定員の拡大を検討ください。お子さんをお預かりする事業となりますので、安全を第一とし、国が定めた保育所の職員配置基準「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和23年厚生省令第63号）」で区分された「従うべき基準」（参考として別添しています。）を参考にし、定員の拡大の検討をお願いします。

#### ②受入対象区分について

受入対象の子どもの定義が「6か月以上、未就園児」ということでしたが、一定年齢を超えても、幼稚園や保育園に通わないケースも考えられるため、「未就園児」という曖昧な定義ではなく、誰でもわかりやすい、年齢での設定をご検討ください。

以上2点について、再度ご検討いただき、検討結果を再度提案書にて審査会事務局（協働コミュニティ課）へご提出をお願いします。

## ■不採択事業の理由

### 国分寺オリパラ×アールブリュット普及事業（仮）

提案された事業は、今年度、市から市民活動団体に提案してほしい事業のテーマ、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する事業」であり、当市のホストタウンとして交流・応援するベトナム国をとりあげ、cocobunji プラザの施設活用、アールブリュット普及、障害者への理解促進など、内容が幅広いものでした。

事業内容が幅広いがゆえに、事業の目指すものの明確性が乏しく、実現可能性が低く懐疑的な印象を受け、残念ながら不採択の結果となりました。

協働事業として実施するには、複数の内容を盛り込むより、内容を絞り事業目的を明確にし、かつ市と協働で実施することにより成果が出る、というポイントで内容を考えていただくとより良い事業になったと思われま



## 保育所の設備運営基準

○保育所の基準は、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準(昭和23年厚生省令第63号)で区分された「従うべき基準」「参酌すべき基準」に従い、都道府県・指定都市・中核市が条例により定める。

### [従うべき基準の主な内容]

#### <職員配置基準>

・保育士

- ・0歳児 3人に保育士1人(3:1)      ・1・2歳児      6:1
- ・3歳児      20:1      ・4歳以上児      30:1

※3歳児については、15:1で実施の場合加算あり

※ただし、保育士は最低2名以上配置

・保育士の他、嘱託医及び調理員は**必置**

※調理業務を全て委託する場合は、調理員を置かなくても可

#### <設備の基準>

- ・0、1歳児を入所させる保育所：乳児室又はほふく室及び調理室  
→ 乳児室の面積：1.65㎡以上/人      ほふく室の面積：3.3㎡以上/人
- ・2歳以上児を入所させる保育所：保育室又は遊戯室及び調理室  
→ 保育室又は遊戯室の面積：1.98㎡以上/人

### [参酌すべき基準の主な内容]

- ・屋外遊戯場の設置      ・必要な用具の備え付け      ・耐火上の基準
- ・保育時間      ・保護者との密接な連絡

※従うべき基準であっても地方自治体がこれを上回る基準を定めることは可能である。

## 国分寺市協働事業審査会委員名簿

委員種別	氏 名	職 業 な ど
1号委員	服部 篤子	一般社団法人 DSIA 代表理事 同志社大学政策学部 教授
同 上	林 大樹	国立大学法人一橋大学大学院社会学研究科 社会学部 特任教授
同 上	田代 美香	特定非営利活動法人 ぐらすかわさき副理事長
2号委員	塩野目 龍一	政策部長
3号委員	一ノ瀬 理	総務部長
4号委員	小川 恵一郎	市民生活部長

(任期) 第8期 H30.11.1～H32.10.31 (1号委員のみ)



平成30年度募集国分寺市提案型協働事業「提案書」

国分寺市長 殿

平成 30年 9月 6日

団体の所在地 東京都国分寺市 [REDACTED]

団 体 名 ははがよむ [REDACTED]

代表者氏名 青木 知子 [REDACTED]

次のとおり提案します。なお、会員名簿・担当者連絡先を除き公開を承諾します。

<p>1 提案事業名</p>	<p>小さい子どもを育てる人のための本の時間 (育児中の親の図書館利用時の子ども見守り事業)</p> <p>(適合する、市の施策または事務事業名： )</p>
<p>2 提案事業期間</p>	<p>平成 31年 4月 1日 から 平成 32年 3月 31日まで</p>
<p>3 提案事業予算</p>	<p>170,522 円</p>
<p>4 提案概要 (事業目的、内容等を 400字以内でご記入 ください。この欄の 記載内容は、ホームページ等で公表 します。)</p>	<p>本を読みたいと思うのは、どんな時でしょうか。楽しみたいとき、情報を得たいとき、好奇心を満たしたいとき、安らぎたいとき。しかし、子どもが小さいお母さん(お父さん)は、なかなかそれできません。</p> <p>「子どもが生まれてから、本を読まなくなった」 私たちが活動を始めてから、このような声を多く聞きます。理由として、単純な時間不足だけではなく、子どもが絵本のコーナーに行ってしまうと付き添うしかない。自分の本を探していても、泣き出してしまえば外に出ざるを得ない、という状況があります。</p> <p>子育てをしていますが、「自分のための時間」を持つことは当たり前 に大切です。育児中の方が図書館で「自分のための」本の時間を楽し む間、スタッフがお子さんを見守っている「おかあさん、ちょっと本 読んできていいよ。」は13回の実施を経てリピーターの方も増え、他 の場所での開催を求める声も届いています。が、現在の体制では場所 とスタッフの確保が難しく、開催回数や場所には限界があります。市 との協働という形にすることで、開催日と場所、スタッフの拡充を図 り、育児中の方のリフレッシュや情報収集に役立ち、よりよい子育て</p>

	に繋がることと考えています。	
5 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 提案書(2号様式)1&2 <input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書(3号様式) <input checked="" type="checkbox"/> 団体概要書(4号様式) <input checked="" type="checkbox"/> 定款又は規約	<input checked="" type="checkbox"/> 会員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 予算・決算関係書類 <input type="checkbox"/> 法人市民税納税証明書 <input checked="" type="checkbox"/> その他(参考資料 2枚 )

団体名 ははがよむ

<p>1 提案事業名</p>	<p>小さい子どもを育てる人のための本の時間 (育児中の親の図書館利用時の子ども見守り事業)</p>
<p>2 事業の目的 (解決すべき社会問題・地域課題、事業の意義や必要性について)</p>	<p>小さい子どもを育てている親が自分のための本の時間を持つことができないことによるストレス、情報・新たな世界との接触が断たれることによる心理的負担の解消、子どもと絶えず過ごすことによる緊張を和らげることが大きな目的である。</p> <p>子どもとの読み聞かせなどの良質な事業は既にあり、また母親たちが集まって自分たちのことを考える公民館の「幼い子を持つ母のための教室」もある。しかし、その人自身として一人で自分のための時間を持ち、自分自身を高めたり、心からリラックスできるような機会はなかなかない。母親のみならず誰しも、心が充実し毎日を楽しむためには「自分のための時間」を持つことが必要だ。日々子育てを楽しみながらも緊張し続け、さらには「うるさくしてしまう」、「迷惑をかける」と気にしなければならない状況が多い中、図書館というあらゆる市民に開かれ、あらゆるジャンルを含む場で安心してゆっくりとした時間を過ごせる時間を持つということは、子育て中の方にとって心強いものに違いない。これまで本に親しんできた方にとっては尚更だ。</p> <p>ははがよむが既に行っている「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」ではスタッフが少ないため日程を増やせないうえに、可能な日にちを割り出しても市内各公民館の和室を希望の日に押さえることには限界がある。そのため、「小さい子ども連れて遠くまではなかなか行けないが、近くで開催してくれたら行きたい」という声に応えきれないという状況を改善したい。</p> <p>子どもが小さいうちは予定の日に熟を出して行けなくなったり、遠くへ行けなかったりすることが多いので、できるだけ場所と機会を増やし、負担なく最寄りの図書館で、気軽な気持ちで「自分のための時間」を持つということが、対象の親にとって望ましいことであると考え。</p>
<p>3 事業の内容 (事業の目的を達成するために何をするか)</p>	<p>●事業内容 既存の「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」(親の図書館利用時間中の、同館内別室での子ども見守り)を「小さい子どもを育てる人のための本の時間」とし、開催日、開催場所を増やすことで必要とする方が利用しやすいものにする。</p> <p>●対象者 国分寺市立図書館の貸し出しカードを持っている育児中の親子(市内在住者優先)※子どもは6か月以上、未就園児</p> <p>●場所 市内2図書館(本多図書館、光図書館)※見守りは公民館保育室で行う</p> <p>●時間</p>

	<p>午前 10 時から 10 時 55 分まで／午前 11 時から 11 時 55 分まで (計 2 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●回数 市内計 20 回 (年間) ※担当課と相談しながら調整</li> <li>●参加費 無料 (基本約 1 時間、10 時からの利用者は、11 時からの申込状況に応じ延長約 1 時間可能)</li> <li>●スタッフ ・有資格、無資格の見守りスタッフを市内在住の方から募集 (それぞれ、両館に行くことができる方を 4～5 名) ※スタッフに対して、年に 2 回講習を行う。</li> </ul>
<p>4 事業計画 (事業の実施スケジュール)</p>	<p>4 月: 見守りスタッフの募集、選定開始 5 月: 見守りスタッフ講習① (進め方、注意点等) 以後、スケジュールに従い見守り事業を開始。 9 月: 見守りスタッフ講習② (報告会、情報共有) 3 月: 報告会 ※「小さい子どもを育てる人のための本の時間」の開催日 (全 20 回) は年度初めに一年度分を確定する。 ※担当課との定例会を年 3 回実施する ※各回とも実施後に受付状況と見守り等について、責任者が事務局への連絡とフィードバックを行う ※3 月の報告会では年間の実施状況を集約し、今後の課題などを洗い出す</p>
<p>5 目標値 (事業期間で達成する目標)</p>	<p>市内全域の子育て中の親が、安心して自分のための本の時間を持ち、充実した時間を過ごせる。それによって、より良い毎日、より良い子育てに向かうことができること。また、子を持つ前の方にとっても、子どもが生まれた後も図書館に行きやすいという認知が広がることで、子育てについて前向きになれる要素が増えること。</p> <p>1 回定員 4 名×2 コマ×20 回=最大 160 人が利用できる機会を作ること。</p>

様式第2号-2 (市民活動団体提案事業)

団体名 ははがよむ

<p>6 事業の対象 (地域, 具体的対象者, 対象総人数等)</p>	<p>主に市内在住の育児中の親、市立図書館の利用者カードを持っている方とその子 ※子どもは6か月以上、未就園児</p>
<p>7 事業の実施場所</p>	<p>市内2図書館 (いずれも公民館併設) →本多図書館、光図書館</p>
<p>8 役割分担 (具体的に)</p>	<p>&lt;提案団体が担う役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小さい子どもを育てる人のための本の時間」の運営実施・スケジュール管理</li> <li>・スタッフ募集の告知と説明、選定 (告知は市報、チラシ、SNSなど)</li> <li>・開催告知 (チラシ作成、他広報)</li> <li>・スタッフの調整ととりまとめ</li> <li>・申込受付、問い合わせ対応</li> <li>・事前講習会と、情報共有会の実施</li> <li>・スタッフ研修の実施</li> </ul> <p>&lt;市が担う役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日の場所の提供、開催告知</li> <li>・定例会による状況把握</li> <li>・図書館、公民館との連携</li> </ul>
<p>9 目標が達成された状態</p>	<p>市内全域で、子育て中の親も自分のための本の時間を定期的に持つことができ、充実した毎日を健康に送ることができる。また、それにより楽しい子育てに繋がる。 また、その後の図書館の継続的な利用にもつながり、本に親しむ親の姿を見た子どもも本を好きになる。</p>

<p>10 市と協働する意義及び必要性、協働による相乗効果</p>	<p>私たち「ははがよむ」で行っている、お母さんが図書館に行っている間に公民館和室で子どもを見守る「おかあさん、ちょっと本読んでいいよ。」では、スタッフの確保が難しいため会場（公民館和室）予約が滞り、複数館で実施する物理的余裕がない。そのため、開催場所から遠い方から「もっと近くであれば行きたい」といった声が聞かれる。また、場所や回数に制限があるため認知も十分ではない。</p> <p>市と協働という形をとることで、より広くスタッフを募ることができる。子どもを見守るという内容から、小さな一活動グループの募集よりも、より信頼感・安心感をもって応募してくださる方が増えると考えている。</p> <p>また、現在のような「公民館活動グループ」としてではなく、あらかじめ場所と回数を確保できれば、早くから開催の告知も出来、確実にサービスを提供できるため、より多くの方のニーズを満たすことができる。また、現状では本多公民館の周囲の方を中心に認知されているが、市内全域に認知が広がることも期待される。</p> <p>相乗効果としては、図書館利用者の増加、親が本に親しむ姿を見た子どもも図書館を利用しやすくなる、などが考えられる。また、スタッフを広く募集することに際しては、子育てに少し余裕ができて復職を考え始めた方にとって、手始めのワンクッションとして捉えていただく場ともなるのではないかと考えている。</p>
<p>11 事業実施後の展開（成果の活用方法又は、提案団体の自主的な活動展開等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年間の統計を見てどの程度の、また細かくどういったニーズがあるかを把握し、翌年度以降の実施計画に活かす。</li> <li>● スタッフは希望を聞きながら引き続き可能な形で協力をいただき、必要に応じて募集をする（認知が広がっているため、募集しやすいという見込）</li> </ul>



様式第4号（市民活動団体提案事業）

団体概要書

※ 枠の大きさは、字数制限を表すものではありません。枠を広げて必要な事項を記入してください。  
ただし、簡潔に分かりやすく記入してください。

団体の名称	(74がナ)ハカヨム			
	ははがよむ			
所在地	〒 185-0011 東京都国分寺市 [REDACTED]			
設立年月日	平成 29 年 4 月			
会員の状況	正会員数	8 人・ 団体	年会費	0 円
		(内国分寺市民 人)		
	賛助会員数	人 団体	年会費	0 円
活動目的	子どもを持つ母親が、自分のための読書の時間を持つことでリフレッシュでき、また母親から読書習慣を広げていくための活動を行うこと			
活動内容・活動実績 (既に協働による委託事業等の実績がある場合には、委託事業名、委託契約先名、委託時期を記入して下さい。)	<p>平成29年</p> <p>4月 設立</p> <p>5月 キックオフイベント「みんなで『あなただけのちいさないえ』を読もう！」（武蔵国分寺公園 みんなで公園ピクニック）</p> <p>7月 「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」トライアル</p> <p>8月 「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p> <p>9月 「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p> <p>10月 「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p> <p>10月 「出張本棚」（於・武蔵国分寺公園）</p> <p>11月 「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p>			

	<p>12月「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p> <p>平成30年</p> <p>1月 ゲストを招いたトークショーを開催「ははがよむ presents トーク&amp;ライブ 子育て中のわたしの時間 種まきのとき」</p> <p>2月「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）。</p> <p>3月「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p> <p>3月「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。（スペシャル）」書店開催（於・nonowa 国立店）</p> <p>4月「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p> <p>4月「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・並木公民館）</p> <p>5月「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p> <p>6月「おかあさん、ちょっと本読んできていいよ。」開催（於・本多公民館）</p> <p>※国分寺市社会福祉協議会ボランティア活動センターこくぶんじ「ここねっと推進助成事業（平成29年度後期）」立ち上げ助成</p> <p>※国分寺市社会福祉協議会ボランティア活動センターこくぶんじ「ここねっと推進助成事業（平成30年度前期）」日常活動費助成</p>
ホームページ	<a href="https://www.facebook.com/hahagayomu/">https://www.facebook.com/hahagayomu/</a> (FBページ)

担当者連絡先	氏名 (役職)
	住所
	電話 FAX
	Eメール

平成30年度募集 提案型協働事業 収支予算書

(収入の部)		内訳		大項目計	
大項目	中項目	170,522	170,522円	中項目計	大項目計
委託費				170,522円	170,522円
参加費				0円	0円
合計					170,522円

(支出の部)		内訳		大項目計	
大項目	中項目	55,500	55,500円	中項目計	大項目計
人件費	小さい子どもを育てる人のための時間	保育士(有資格者)1名×1110円×2.5h×20回	55,500円	55,500円	130,020円
	スタッフ研修	保育士(無資格)1名×1020円×2.5h×20回	51,000円	51,000円	
	スタッフ研修	事業担当者2名×980円×2h×2回	7,840円	7,840円	
	スタッフとの報告会(年1回)	事業担当者2名×980円×2h	3,920円	3,920円	
	担当課との定例会(年3回)	事業担当者2名×980円×2h×3回	11,760円	11,760円	
報償費	スタッフ研修	外部講師5000円×2回	10,000円	10,000円	20,000円
	チラシデザイン	デザイン、オンライン印刷対応データ作成	10,000円	10,000円	
印刷製本費	チラシ印刷	オンライン印刷に発注(A4光沢紙500部で1500円×2回)	3,000円	3,000円	3,000円
	見守りに必要なもの(各館)	ティッシュ、名前シール、など	1,000円	1,000円	2,000円
消耗品費	研修、報告会 資料作成	研修室、定例会、報告会 資料印刷 スタッフ募集中 チラシ 係 買運絡取 用紙代 (計1000枚)	1,000円	1,000円	
	直接経費計			155,020円	155,020円
経費	報告書作成	報告書作成 980円×3h=2,940円、経理 980円×1h×12回=11,760円、報告書等消耗品代(A4用紙、文具) 802円 計15,502円		15,502円	15,502円
	合計				170,522円



平成30年度募集国分寺市提案型協働事業「提案書」

平成30年 7月17日

国分寺市長 殿

団体の所在地  
国分寺市富士本1-18-13

団体名 NPO法人まちづくりサポート国分寺  
代表者氏名 龍神 瑞穂

次のとおり提案します。なお、会員名簿・担当者連絡先を除き公開を承諾します。

<p>1 提案事業名</p>	<p>”ぐるり、わがまち国分寺まち歩き”事業 (適合する市の施策または事務事業名： まちの魅力の発信・振興、景観と環境</p>
<p>2 提案事業期間</p>	<p>平成31年4月1日から平成32年3月31日まで</p>
<p>3 提案事業予算</p>	<p>335,488円</p>
<p>4 提案概要 (事業目的、内容等を400字以内でご記入ください。この欄の記載内容は、ホームページ等で公表します。)</p>	<p>国分寺市の景観まちづくり指針を受けて、市民が誇りと愛着をもてる景観を国分寺市まちづくりセンターでは「国分寺百景」として選定しています。また当法人では、これら「国分寺百景」を効率よく散策出来るように散策ルートマップを作成、頒布するとともに、まち歩きを企画、実施しています。</p> <p>これらを踏まえ、より多くの市民に国分寺市の良さを再発見してもらい、景観まちづくり、ひいてはまちおこしへの関心を高めてもらうべく、まち歩きとまちを知るための講座を合わせて実施するものです。</p> <p>今回のまち歩きは、四季別、テーマ別の6コースとし、テーマとしては、農業や国分寺ブランド、季節性のあるビューポイント、講座については、地理的、歴史的な観点からの市のなりたちの基本(ハケ、野川、新田開発、用水、寺社等)についてとします。</p> <p>また、まち歩きは、農業者等の地元関係の話を聞く機会など直接のふれあいも含めます。</p>
	<p> <input checked="" type="checkbox"/>提案書(2号様式)1&amp;2  <input checked="" type="checkbox"/>収支予算書(3号様式)  <input checked="" type="checkbox"/>団体概要書(4号様式)  <input checked="" type="checkbox"/>定款又は規約  <input checked="" type="checkbox"/>会員名簿  <input checked="" type="checkbox"/>予算・決算関係書類  <input type="checkbox"/>法人市民税納税証明書  <input type="checkbox"/>その他(補足資料2枚)         </p>

様式第2号-1 (市民活動団体提案事業)

団体名 NPO 法人まちづくりサポート国分寺

1 提案事業名	”ぐるり、わがまち国分寺まち歩き”事業																				
2 事業の目的 (解決すべき社会問題・地域課題、事業の意義や必要性について)	① 駅前再開発、農地の宅地化など大きく変化している地域環境を視て考察する。 ② ハケ、野川、新田開発、用水、寺社等地域遺産などの市の成り立ちを知り、関心を持ってもらう。 ③ 地元野菜農家等との交流 ④ まちの魅力の発信・地域振興 ⑤ 景観や環境に配慮した事業の企画、実施																				
3 事業の内容 (事業の目的を達成するために何をするか)	① 四季のまち歩き ・ 参加者全員による各回講座・交流 (30分間×4回) 公民館、地域センター集合 ・ 季節に合わせたルート設定 (2時間×4回) ② テーマ別散策 (2コース) ×20名 ・ 市のトライアングルゾーンを、史跡武蔵国分寺跡を中心として歩く ・ 野川源流から崖線沿いを歩く、 2コースとも講義と交流 {1h講義と2hまち歩き}																				
4 事業計画 (事業の実施スケジュール)	1、四季のまち歩き 9時30分から12時まで <table border="1" data-bbox="459 1055 1299 1630"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>講座・交流</th> <th>まち歩き</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31年 春5月</td> <td>ハケ、野川、新田開発、用水、寺社等</td> <td>(参考)散策ルートマップ ルート2</td> <td>・イチゴ農家 ・茶畑</td> </tr> <tr> <td>夏7月</td> <td>”</td> <td>同上 ルート4</td> <td>・こくベジ野菜農家 ・ブルーベリー農家</td> </tr> <tr> <td>秋 11月</td> <td>”</td> <td>同上 ルート3</td> <td>・シシルエット ・植木苗木</td> </tr> <tr> <td>冬 2月</td> <td>”</td> <td>同上 ルート1</td> <td>・リオン広場テラス見学 ・富士山ビューポイント探し</td> </tr> </tbody> </table> 2、テーマ別散策 (6月、10月予定) 「実施予定時間」13時から16時 3、参加費 400円 (保険料100円+資料代300円)	日時	講座・交流	まち歩き	特徴	31年 春5月	ハケ、野川、新田開発、用水、寺社等	(参考)散策ルートマップ ルート2	・イチゴ農家 ・茶畑	夏7月	”	同上 ルート4	・こくベジ野菜農家 ・ブルーベリー農家	秋 11月	”	同上 ルート3	・シシルエット ・植木苗木	冬 2月	”	同上 ルート1	・リオン広場テラス見学 ・富士山ビューポイント探し
日時	講座・交流	まち歩き	特徴																		
31年 春5月	ハケ、野川、新田開発、用水、寺社等	(参考)散策ルートマップ ルート2	・イチゴ農家 ・茶畑																		
夏7月	”	同上 ルート4	・こくベジ野菜農家 ・ブルーベリー農家																		
秋 11月	”	同上 ルート3	・シシルエット ・植木苗木																		
冬 2月	”	同上 ルート1	・リオン広場テラス見学 ・富士山ビューポイント探し																		
5 目標値 (事業期間で達成する目標)	・参加人員 四季のまち歩き20名×4回 テーマ別散策20名×2回 (各講義及び交流) 延120名																				

<p>6 事業の対象 (地域, 具体的対象者, 対象総人数等)</p>	<p>市民及び国分寺に関心を持つ人 (地域年齢問わず散策と講義交流会に参加できる人)</p>
<p>7 事業の実施場所</p>	<p>公民館、地域センター会議室 ☆ただし散策時は屋外予定</p>
<p>8 役割分担 (具体的に)</p>	<p>&lt;提案団体が担う役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座及びルート設定 (6回)</li> <li>・ 訪問先、関連各所との交渉 (保険手配等)</li> <li>・ 講座及びルート散策、案内、進行、管理体制</li> <li>・ まち歩きの実績経験、知見を生かせる体制</li> <li>・ アンケート調査実施</li> </ul> <p>&lt;市が担う役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こくベジ農家の紹介、</li> <li>・ 会場の借り上げ、集合場所等の確保、</li> <li>・ 広報事業 PR</li> <li>・ 資料提供</li> </ul>
<p>9 目標が達成された 状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各回参加者のアンケート結果による満足度の高い評価</li> <li>・ 新田開発、用水の存在、市の成り立ちなどを知りまちに愛着を持つ。</li> <li>・ 市民に身近な景観を国分寺百景に提案してもらえる状態</li> <li>・ まちづくり活動への市民参加者の増加</li> </ul>
<p>10 市と協働する意 義及び必要性、協 働による相乗効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武蔵野の面影のある雑木林、景観を市民と行政が共有し維持管理活動への参加に繋げていく</li> <li>・ 大きく変貌していくまちの中に新たな市の魅力の発見や地域活動への参加に繋げていく。</li> <li>・ 生活に身近な情報の提供等により、国分寺の魅力の再発見を促し住みつづけたいまちふるさと国分寺、の実現に寄与する。</li> </ul>

11 事業実施後の展開 (成果の活用方法又は、提案団体の自主的な活動展開等)	・今後も新たなコースの設定、魅力ある景観を市民参加で国分寺百景に加えるなど、住みつづけたいまちふるさと国分寺への愛着の醸成事業を企画していく。
---	---

様式第4号 (市民活動団体提案事業)

### 団体概要書

※ 枠の大きさは、字数制限を表すものではありません。枠を広げて必要な事項を記入してください。  
ただし、簡潔に分かりやすく記入してください。

団体の名称	(フリガナ) NPO 法人 まちづくりサポート国分寺		
所在地	〒185 -0031 国分寺市富士本 1-18-13		
設立年月日	平成20年 2月		
会員の状況	正会員数 17 人・ 0 団体 (内国分寺市民 15 人)	年会費	3,000 円
	賛助会員数 0 人 0 団体	年会費	10,000 円
活動目的	主として国分寺市域のまちづくりや景観に関する情報の収集、調査、相談、助言を行い安全、安心で住み続けたい魅力あるまちづくりに寄与すること		
活動内容・活動実績 (既に協働による委託事業等の実績がある場合には、委託事業名、委託契約先名、委託時期を記入して下さい。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連する会議等への積極的な参加</li> <li>・ まちづくりの調査及び検討</li> <li>・ 28年度末までの10年間国分寺市まちづくりセンターの運営管理</li> <li>・ 29年度国分寺百景散策ルート7つすべてのまち歩きを企画、実施</li> <li>・ 30年度市民活動フェスティバル、国分寺百景揭示、PR</li> <li>・ 都市計画道路情報の提供</li> <li>・ 光公民館主催まち歩き講座及びガイド受託</li> </ul>		
ホームページ			

担当者連絡先	氏名	(役職)
	住所	
	電話	FAX
	Eメール	

平成30年度募集提案型協働事業 収支予算書

(収入の部)

大項目	中項目	内訳	中項目計	大項目計
委託費	委託金		335,488 円	335,488 円
参加費用	四季のまち歩き@400円×20名×4回 テーマ別散策@400円×20名×2回		32,000 円 16,000 円	48,000 円
合計				383,488 円

(支出の部)

大項目	中項目	内訳	中項目計	大項目計
人件費	①具体化検討会 ②四季のまち歩き ③テーマ別散策	圏分寺市との打ち合わせ @1200×2h×2回×2名 プロジェクト3回 @980×2h×3回×3名 事前コース調査交渉 @1200×3h×4名×4回 実証まち歩き @1200×3h×4名×4回 実証まち歩き @980×3h×3名×4回 資料作成 @980×2h×2名×4回 事前コース調査交渉 @1200×2h×2名×2回 実証まち歩き @980×4h×4名×2回 実証まち歩き @1200×4h×2名×2回 テーマ別散策 @5000×2回	9,600 円 17,840 円 57,800 円 57,800 円 35,280 円 15,680 円 9,600 円 31,360 円 19,200 円 10,000 円	27,240 円 186,160 円 60,160 円
報償費	隣産講師謝礼	10円×500枚×4回 15円×500枚×2回	20,000 円 15,000 円	35,000 円
印刷製本費	まち歩きチラシ テーマ別散策チラシ	2800円×2箱=5600×1.08 5800×1箱=5800×1.08 200×10冊=2000×1.08 320×1箱=3200×1.08	6,048 円 6,264 円 2,160 円 3,456 円	17,928 円
消耗品費	印刷用紙 プリンターインク 参加者名札ケース ファイル	62円×30名 180円×2×40名	1,860 円 14,400 円	1,860 円 14,400 円
通信費	参加者への連絡			
交通費	打ち合わせ及び行事日			
保険料	四季のまち歩き テーマ別散策	参加者20名、ガイド等7名×100×4回 参加者20名、ガイド等6名×100×2回	10,800 円 5,200 円	16,000 円
直接経費計			348,748 円	348,748 円
間接費	報告書作成人件費@980×7h×3名=20,580円。買金作業@980×1h×1名×12月分=11,760円。通信費200円×12月分=2400円		34,740 円	34,740 円
合計			383,488 円	383,488 円





平成30年度募集国分寺市提案型協働事業「提案書」

平成30年7月17日

国分寺市長 殿

団体の所在地 国分寺市東恋ヶ窪6-11-3  
 団体名 ふれあい北の原  
 代表者氏名 田代和雄

次のとおり提案します。なお、会員名簿・担当者連絡先を除き公開を承諾します。

<p>1 提案事業名</p>	<p>北の原地域センター運営に関するサポート事業</p> <p>(適合する、市の施策または事務事業名：北の原地域センター維持管理事務事業)</p>	
<p>2 提案事業期間</p>	<p>平成31年4月1日 から 平成32年3月31日まで</p>	
<p>3 提案事業予算</p>	<p>966,750 円</p>	
<p>4 提案概要 (事業目的、内容等を400字以内でご記入ください。この欄の記載内容は、ホームページ等で公表します。)</p>	<p>私達は、北の原地域センターの利用者として、設立以来、長年センターの活動に関わり、地域センターまつりや防災のつどいなどを20年以上開催し、地域の絆を深めてきました。そうした活動を通じて、単なる利用者に留まらず、地域の特性を理解する地域住民自らがセンターの運営を担うことで、より地域に密着したコミュニティの拠点施設となり、地域の支えあいの仕組みをつくるのが継続的にできるのではないかと考えるようになりました。そこで昨年、利用者協議会の中から有志で担い手となる団体を立ち上げ、市と協議してきました。</p> <p>まずは来年度、管理運営のノウハウを身に付けることを目的として、市による運営のうち、日常的な維持管理業務の一部を当団体が行うことを、協働事業として提案します。</p> <p>この事業を下敷きに、将来的には北の原地域センターの管理を市から全面的に委託され、利用者自らが地域コミュニティの拠点を担うことを目標として活動します。</p>	
<p>5 添付書類</p>	<p>■提案書(2号様式)1&amp;2                  ■収支予算書(3号様式)                  ■団体概要書(4号様式)                  ■定款又は規約</p>	<p>■会員名簿                  ■予算・決算関係書類                  □法人市民税納税証明書                  □その他( )</p>

1 提案事業名	北の原地域センター運営に関するサポート事業
2 事業の目的 (解決すべき社会問題・地域課題、事業の意義や必要性について)	<p>■地域の安全・安心の確保 ■地域のネットワーク・継続的な地域の支え合いの仕組み作り</p> <p>&lt;解決すべき社会問題・地域課題&gt; 災害時にはいわゆる「公助」のみではなく、「自助」、ご近所による「共助」が重要と云われています。また、防犯、不審者対策などは、日頃からの地域の目が大切です。しかし今の時代は、高齢化や核家族化により、地域住民の連帯感が希薄になっています。</p> <p>また、北の原地域センターのある東恋ヶ窪地域内では、高齢化が進行するとともに、犯罪も増加しており、防災や防犯などの地域の安全・安心を確保するため地域コミュニティの強化を図ることが喫緊の課題となっています。</p> <p>こういった中で、高齢者や障害者、子どもなどを地域で見守る上で、地域には大きな役割が期待されており、地域の防犯力、防災力を高めるためには地域のネットワーク、継続的な地域の支え合いの仕組みを作る必要があります。</p> <p>こうした活動を継続していくには、地域の中に、牽引する人や拠点となる場所が必要と考えます。</p> <p>&lt;事業の意義・必要性&gt; この事業は、今まで地域センターの利用者であり、運営に「参加」する立場だった地域住民が、自ら「実施」する立場となることで、地域コミュニティの強化を図っていくものです。</p> <p>地域の特性を理解する地域住民自らがセンターの運営を担うことで、より地域に密着したコミュニティの拠点施設となり、地域の支えあいの仕組みをつくる活動を継続していくことができます。</p>
3 事業の内容 (事業の目的を達成するために何をするか)	<p>(1) 地域センター管理運営業務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域センターの利用申請受付・備品貸出及び問合せ対応等</li> <li>・簡易清掃、庭木剪定、花壇の植栽及び概ね1万円未満の軽微な修繕など、専門業者によらない範囲の施設の手入れ</li> </ul> <p>(2) 課題解決のための自主活動</p> <p>(1)と並行し、自主事業として、北の原地域センターを拠点とした地域住民の連帯を深めるまつりや高齢者の見守り、防犯パトロール、防災講座などを、利用者協議会等と協力して実施します。</p> <p>□課題解決の担い手育成に関する活動</p> <p>1) 高齢者見守り、防災・防犯活動のリーダー養成講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：主に20～60代市民</li> <li>・詳細：国分寺市立北の原地域センターを会場として、高齢者の見守り活動や防災、防犯活動を養成する講習会を実施する。</li> </ul>

	<p>□その他の活動</p> <p>1) 子供の下校時見守り活動 対象：小学生以下</p> <p>2) 夏・冬休みの子供居場所づくり 対象：小学生以下</p> <p>3) 東恋ヶ窪六丁目自治会防災委員会と連携した災害時の安否確認活動 対象：東恋ヶ窪六丁目全世帯</p> <p>4) 高齢者の見守り活動 対象：東恋ヶ窪六丁目に居住する高齢者</p>
<p>4 事業計画 (事業の実施スケジュール)</p>	<p>(1) 地域センター管理運営業務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域センターの利用申請受付・備品貸出及び問合せ対応等 ：日・祝日の対応(9:00~17:00)及び平日における市職員の昼休み時の代替え(11:45~13:15)</li> <li>・簡易清掃：毎日</li> <li>・庭木剪定、花壇の植栽及び概ね1万円未満の軽微な修繕：適宜</li> <li>・防災訓練及び避難訓練：各年1回</li> </ul> <p>(2) 課題解決のための自主活動について</p> <p>□課題解決の担い手育成に関する活動</p> <p>1) 高齢者見守り、防災・防犯活動のリーダー養成講習会 企画・準備4~5月、実施6~翌年3月(講師1回派遣 計2回)</p> <p>□その他の活動</p> <p>1) 子供の下校時見守り活動 1年を通じて小学生以下を対象に3公園(かしの木、ひまわり、さくら公園)での下校時見守り活動を行う。</p> <p>2) 夏・冬休みの子供居場所づくり 小学生以下を対象に、夏・冬休みの火・金曜日に室内スポーツ、学習応援等を実施する。</p> <p>3) 東恋ヶ窪6丁目自治会防災委員会と連携した災害時の安否確認活動 東恋ヶ窪六丁目全世帯を対象に、災害時における安否確認が可能となるよう、安否確認訓練(10月)や応急救護訓練(2月)に参加し協力体制を確立する。</p> <p>4) 高齢者の見守り活動 東恋ヶ窪六丁目に居住する高齢者を対象に、自宅を訪問しながら見守り活動を行う。</p>
<p>5 目標値 (事業期間で達成する目標)</p>	<p>(1) 地域センター管理運営業務の実施について 地域住民が直接携わることによる迅速で、きめ細やかな管理及び利用者目線に立った運営の達成</p> <p>(2) 課題解決のための自主活動について 課題解決の担い手育成に直接関係する活動</p> <p>1) 高齢者見守り、防災、防犯育成講習会 指標と目標：講習会開催回数⇒各2回(参加者100人)</p>

<p>6 事業の対象 (地域、具体的対象者、対象総人数等)</p>	<p>拠点となる北の原地域センターを中心とした東恋ヶ窪地域の利用者 1000人(850世帯)</p>
<p>7 事業の実施場所</p>	<p>・国分寺市立北の原地域センター</p>
<p>8 役割分担 (具体的に)</p>	<p>&lt;提案団体が担う役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市から地域センター管理運営業務を学びながら、日常維持管理業務を実施する</li> <li>・他団体と協力して、高齢者の見守り、防犯パトロール、防災講座などの自主事業を実施する</li> <li>・運営について他団体からもアドバイスを受け、利用者目線に立った運営について市へ提言する</li> </ul> <p>&lt;市が担う役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体スタッフへの地域センター管理運営業務内容の教示、助言</li> <li>・自主活動実施に当たっての他団体との連携支援</li> </ul> <p>他団体→地域センター利用者協議会、自治会・町内会、老人会、地区PTA、地域団体、消防署、警察署等。</p>
<p>9 目標が達成された状態</p>	<p>短期的には以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 利用者目線に立った施設運営</li> <li>(2) 安心・安全の地域。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高齢者見守り、防災、防犯活動育成を通して地域の絆づくり</li> <li>② 児童見守り活動及び子供居場所づくりで児童の安全を確保する。</li> </ol> </li> </ol> <p>中・長期的には以下のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域の市民活動が活発になる。</li> <li>(2) 地域の課題への取り組み力が増大する。</li> <li>(3) 地域のネットワークが強くなる。</li> <li>(4) 地域が人を育てる力をもつ。</li> <li>(5) 防犯や災害時等の助け合いが活発になる。</li> </ol>
<p>10 市と協働する意義及び必要性、協働による相乗効果</p>	<p>当団体は、北の原地域センターを地域住民である利用者が自ら運営することを目指して、利用者協議会の中から昨年設立した団体です。利用者としては長年活動に関わってきたとはいえ、事業者としてすべての行政事務の移譲を受け、市に代わって運営するには、まだ団体の力が不足しています。</p> <p>そこで、市との協働事業として一部の業務を担うところから始め、職員から直接運営業務を学びながら経験を積むことができれば、将来的に地域センターの管理を市から全面的に委託される際、スムーズに移行できます。</p>

	<p>また、その結果、地域の特性を知っている地域住民自らが地域センターの運営を担うことで、より地域に密着したコミュニティの拠点施設となり、地域の支えあいの仕組みをつくる活動が継続的にできるようになります。</p>
<p>11 事業実施後の展開 (成果の活用方法又は、提案団体の自主的な活動展開等)</p>	<p>&lt;事業計画&gt;</p> <p>○平成 31 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回提案協働事業の実施</li> <li>・市が平成 32 年度公募型協働事業を募集した場合に応募・審査を受け選定をめざす。</li> </ul> <p>○平成 32 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募型協働事業で選定された場合、事業を継続実施する。</li> <li>・平成 32 年度中に NPO 法人格を取得する。</li> <li>・市が平成 33 年度指定管理者を募集した場合に応募・指定管理者の指定をめざす。</li> </ul> <p>○平成 33 年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 33 年 4 月 1 日から、国分寺市立北の原地域センター指定管理者の指定を受け、事業の継続実施をめざす。</li> </ul> <p>&lt;事業計画を通じた展開&gt;</p> <p>この事業の実施によって、地域住民自らが地域センターの運営を担うようになることで、地域センターはより地域に密着したコミュニティの拠点施設となります。これにより、地域の安全・安心の確保のための活動、地域のネットワーク・継続的な地域の支えあいの仕組みをつくる活動が、地域センターを中心に継続的に行われるようになります。</p>

平成30年度募集 提案型協働事業収支予算書

(収入の部)

大項目	中項目	内 訳	中項目 計	大項目 計
委託費	委託金	966,750円 × 1回 = 966,750円	966,750円	966,750円
合 計				966,750円

(支出の部)

大項目	中項目	内 訳	中項目 計	大項目 計
人件費	臨時職員の業務人件費	1.5時間 × 309日 × 980円 × 1人 = 454,230円	454,230円	
	人件費(開館日の昼)	7時間 × 66日 × 980円 × 1人 = 452,760円	452,760円	906,990円
	人件費(日・祝日)			
報償費	講座講師御礼	2回 × 10,000円 = 20,000円	20,000円	20,000円
消耗品費	印刷用紙代	300枚 × 10回 = 3,000枚(1円/枚)	3,000円	3,000円
	講座周知チラシ			
修繕費	軽微修繕費	10,000円	10,000円	10,000円
保険料	保険料	賠償責任、傷害保険	15人 × 1,000円 = 15,000円	15,000円
	直接経費計		954,990円	954,990円
経費	事務担当人件費	1時間 × 12日 × 980円 × 1人 = 11,760円	11,760円	11,760円
合 計				966,750円

団体概要書

※ 枠の大きさは、字数制限を表すものではありません。枠を広げて必要な事項を記入してください。  
ただし、簡潔に分かりやすく記入してください。

団体の名称	(フリガナ) ふれあいきたのほら				
	ふれあい北の原				
所在地	〒185-0015 国分寺市東恋ヶ窪六丁目6-11-3				
設立年月日	平成29年 7月 16日				
会員の状況	正会員数	15名	年会費	2,000円	
	(内国分寺市民)	15名			
	賛助会員数	16名	年会費	1,000円	
活動目的	<p>東恋ヶ窪地域内では高齢化が進行するとともに、犯罪も増加しており、防災や防犯などの地域の安全・安心を確保するため地域コミュニティの強化を図ることが喫緊の課題となっている。</p> <p>そこで、北の原地域センターの運営を通じて地域住民の連帯を深めるまつりや高齢者の見守り、防犯パトロール、自主防災などの事業活動を実施していきたい。</p> <p>その事業実施の中で担い手を育成し、地域のネットワークを作ることで継続的な地域の支え合い仕組みを作り、またその成果を検証し事業を推進する。</p>				
活動内容・活動実績 (既に協働による委託事業等の実績がある場合には、委託事業名、委託契約先名、委託時期を記入して下さい。)	<p>当団体メンバーは他の団体にも属し、今年で20回目となる「北の原地域センターまつり」の運営や、「防犯のつどい（23回実施）」及び「防犯・見守り活動（20年間）」を行ってきた。</p> <p>当団体は、昨年より地域センターの運営をからめた地域活動の強化をめざし、北の原地域センターの清掃や児童の居場所づくり、認知症講話会を実施している。</p> <p>今年度も高齢者の見守り、児童の居場所づくりなどを実施するために、総力をあげて絆づくりを展開していきたい。</p>				
ホームページ					
担当者連絡先	氏名	[REDACTED]		(役職)	[REDACTED]
	住所	[REDACTED]			
	電話	[REDACTED]			
	Eメール	[REDACTED]			
			FAX	左記同じ	



平成30年度募集国分寺市提案型協働事業「提案書」

平成 30年 9月 7日

国分寺市長 殿

団体の所在地 国分寺市本町 2-12-1 宮寺ビル 2階

団 体 名 Nomad Art ノマドアート

代表者氏名 成清 北斗

次のとおり提案します。なお、会員名簿・担当者連絡先を除き公開を承諾します。

<p>1 提案事業名</p>	<p>国分寺オリパラ×アールブリュット普及事業 (仮)</p> <p>(適合する、市の施策または事務事業名: )</p>	
<p>2 提案事業期間</p>	<p>平成 31年 4月 1日 から 平成 32年 3月 31日まで</p>	
<p>3 提案事業予算</p>	<p>770,290 円</p>	
<p>4 提案概要 (事業目的、内容等を400字以内でご記入ください。この欄の記載内容は、ホームページ等で公表します。)</p>	<p>目的：一般的にあまりなじみのない「アールブリュット」という、障がいのある・なしを問わず誰もが主役になれるアートの在り方を、市民への直接体験の機会提供により広く普及させること。そのため、比較的市民の認知度、関心度が高く、開催間近でもある東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京 2020 大会）との関連性を持たせることで、自然な興味の誘発につなげると同時に、文化振興という側面から大会を応援し、市民の大会気運醸成につなげること。そして、新たな市施設の文化的活用方法を提案すること。</p> <p>内容：市民とアーティストの協働による、東京 2020 大会や国分寺市がホストタウンとして交流・応援するベトナム国をモチーフとしたオリジナル応援フラッグ制作及び展示。アールブリュットをテーマとした展覧会及びシンポジウムの開催。大会開催までの期間、協働作品と事業記録（映像・写真）を市内複数施設にて展示、市ウェブサイトにて公開。</p>	
<p>5 添付書類</p>	<p>■提案書(2号様式)1&amp;2 ■収支予算書(3号様式) ■団体概要書(4号様式) ■定款又は規約</p>	<p>■会員名簿 ■予算・決算関係書類 □法人市民税納税証明書 ■その他(過去チラシ等)</p>



様式第2号-1 (市民活動団体提案事業)

団体名 Nomad Art ノマドアート

1 提案事業名	国分寺オリパラ×アールブリュット普及事業 (仮)
2 事業の目的 (解決すべき社会問題・地域課題、事業の意義や必要性について)	<p>目的：事業を通じ、市民に、多様性のひとつとして障がい者を認識してもらうことや、アールブリュットを含む芸術文化全般に関心を持ってもらうこと。同時に文化の面から東京 2020 大会(特にパラリンピック)への気運醸成を促すこと。</p> <p>課題や意義、必要性：市内に公の美術館が存在しないことから、様々なアートに触れる機会が限られるため、専門性を有する市民提案の草の根文化活動を積極的かつ継続的に展開することにより、地域の文化環境を向上させる必要があること。近隣地域と比較し、アールブリュットに関する活動がそれほど展開されていないことから、多様性ある社会を目指すための手段として、普及の必要性を感じる。</p>
3 事業の内容 (事業の目的を達成するために何をやるか)	<p>1.cocobunji プラザにて、地域のアーティスト(当団体所属)と、障がいを持ったアーティスト、市民(小学生以上)による東京 2020 大会やベトナム国をモチーフとしたオリジナル応援フラッグ協働制作(造形ワークショップ)。</p> <p>2.cocobunji プラザ(仮)にて、1.での制作物や当日記録に加え、1.の両アーティストのオリンピック・パラリンピックをテーマにした小作品展示。会期中、アーティストとアールブリュット普及活動実践者、専門家によるシンポジウムを実施。</p> <p>3.市ウェブサイトにて大会までの期間(~2020)記録(文章、写真、動画)公開。</p> <p>4.市内複数施設にて大会までの期間(~2020)協働制作作品展示</p>
4 事業計画 (事業の実実施スケジュール)	<p>2019年4月以降</p> <p>参加アーティスト・ワークショップ内容・役割分担・実施時期場所検討</p> <p>6-7月</p> <p>参加アーティスト・ワークショップ内容・役割分担・実施時期場所決定</p> <p>10-11月</p> <p>協働作品制作(造形ワークショップ)</p> <p>展示(土日×3を含む16日間予定、会期中にシンポジウム)</p> <p>2020年1月以降</p> <p>市ウェブサイトにて大会までの期間(~2020)記録(文章、写真、動画)公開</p> <p>市内複数施設にて大会までの期間(~2020)協働制作作品展示</p> <p>4月</p> <p>事業報告書提出</p> <p>5月</p> <p>審査会にて事業報告</p>
5 目標値 (事業期間で達成する目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の文化、障がいに対する理解や親しみが増すこと</li> <li>・大会機運醸成の成果物完成、記録の公開</li> <li>・参加者計 1,200 名+※=ワークショップ参加 50 名、展覧会来場 1,050 名(16 日間)、シンポジウム 100 名に加え、※市内複数施設展示、オンライン記録閲覧(2019 年 1 月~2020 年大会期間:従来利用者数+α 見込のため要調査)</li> </ul>

様式第2号-2 (市民活動団体提案事業)

団体名 Nomad Art ノマドアート

<p>6 事業の対象 (地域, 具体的対象者, 対象総人数等)</p>	<p>チラシ・ポスター: 市内公共施設来場者、学校通学、関係者 10,000 部/100 部 ワークショップ: 小学生以上の市民 50 名 展覧会: 市民(cocobunji プラザ来場者: 市民以外含) 1,050 名 シンポジウム: 市民 (cocobunji プラザ来場者: 市民以外含) 100 名 記録公開: 市内複数施設来場者、市ウェブサイト閲覧者 (市民以外含)</p>
<p>7 事業の実施場所</p>	<p>チラシ・ポスター: 市内公共施設、市内学校 ワークショップ: cocobunji プラザ (リオンホール) 展覧会: cocobunji プラザ (まちの魅力発信コーナーその他: 仮) シンポジウム: cocobunji プラザ (リオンホール) 記録公開 (実施後): 市内複数施設、市ウェブサイト</p>
<p>8 役割分担 (具体的に)</p>	<p>&lt;提案団体が担う役割&gt; ワークショップ、展覧会、シンポジウム企画実施 記録作成 (文章、写真、映像) チラシ、ポスター、看板等作成 アーティスト紹介</p> <p>&lt;市が担う役割&gt; 全体: 市他機関連携、市媒体告知と記録公開、会場調整、広報物配布 文化振興課: 事業全般の連携、他 スポーツ振興課: 東京 2020 参画プログラム申請、他 障害福祉課: 手話通訳等派遣、課企画との連携、他</p>
<p>9 目標が達成された状態</p>	<p>障がいやアールブリュットに対する関心が高まるとともに、東京 2020 大会への気運醸成につながった状態。 事業を通じ、文化芸術への親しみを感じることで、障がい者との直接交流を体験すること、アールブリュットおよびパラリンピックということばが市内で周知されることが最低限達成すべき目標。</p>
<p>10 市と協働する意義及び必要性、協働による相乗効果</p>	<p>協働意義必要性: 市が事業の意義を認めることにより、市民への周知が円滑になり、理解が深まるため。収益目的ではない公益事業 (例: 協働作品は参加者が持ち帰らず、市内施設にて展示) であり、資金を含む公的援助が必要なため。 協働による相乗効果: ワorkshop、アールブリュットなど芸術の専門性や経験の提供、独自ネットワークによる地元作家の紹介により、福祉や教育に止まらず、文化芸術としての質を担保した事業実施が可能となること。</p>
<p>11 事業実施後の展開 (成果の活用方法又は、提案団体の自主的な活動展開等)</p>	<p>当事業を契機とし、市や市民との協働による長期的かつ持続可能な地域文化の発展を目指す。具体的には、1. 市内アーティストバンクといった仕組みを築き、市民アーティストによる市の文化事業への積極的関与や、市、団体双方の提案による事業実施が可能となる環境を整備。2. 事業 (大会までの市施設での作品展示を含む) を通じ、アートやスポーツといった文化全般に関心を持った市民に今後の活動参画をしてもらうことで、地域文化の担い手を育成。</p>

団体概要書

※ 枠の大きさは、字数制限を表すものではありません。枠を広げて必要な事項を記入してください。  
ただし、簡潔に分かりやすく記入してください。

団体の名称	(フリガナ) ノマドアート		
	Nomad Art ノマドアート		
所在地	〒 185-0012 国分寺市本町 2-12-1 宮寺ビル 2階 (国分寺スタジオ) (立川市にも所在地あり: 立川市錦町 2-3-26 立川市こども未来センター 2階 協働事務室)		
設立年月日	2015年 10月		
会員の状況	正会員数 13人・団体 (内国分寺市民 5人)	年会費	8,000円
	賛助会員数 0人 団体	年会費	3,000円
活動目的	アートおよびアーティストの社会的有用性を実証すること。 アートによる市民の豊かな暮らしづくりをサポートすること。		
活動内容・活動実績 (既に協働による委託事業等の実績がある場合には、委託事業名、委託契約先名、委託時期を記入して下さい。)	<p>アートプロジェクト</p> <p>主催 2018「おやこ・de・アート展 2018」in 立川 立川市子ども未来センター (および立川市内児童館)、東京</p> <p>主催 2017「おやこ・de・アート展」in 立川 立川市子ども未来センター、東京 ほか</p> <p>参加 2018「Play Me I'm Yours KUNITACHI 2018」国立京周辺、東京ほか</p> <p>ワークショップ</p> <p>委託 2017「立川市オリジナル缶バッジづくり」東京都立日比谷公園、cote 立川、東京</p> <p>主催 2016「スペシャル企画★キミがまんがの主人公！」立川市子ども未来センター、東京</p> <p>委託 2016「アイロンビーズで立川のご当地キャラづくり！」国営昭和記念公園、東京スカイツリーJ-COM Wonder Studio、東京ほか</p>		
ホームページ	HP: <a href="http://www.nomadart.jp">www.nomadart.jp</a> Facebook: <a href="http://www.facebook.com/nomadart.jp">www.facebook.com/nomadart.jp</a>		

担当者連絡先	氏名	[REDACTED] (役職)
	住所	[REDACTED]
	電話	[REDACTED] FAX なし
	Eメール	[REDACTED]

平成30年度募集 提案型協働事業 収支予算書

(収入の部)		内訳		中項目計	大項目計
大項目	中項目			770,290 円	770,290 円
委託費	委託金	WS制作物は参加者個人所有とならないため参加費等徴収せず		770,290 円	770,290 円
合計					770,290 円
(支出の部)		内訳		中項目計	大項目計
大項目	中項目			72,000 円	347,320 円
人件費	企画	ワークショップ企画(各各関係調整・事前会議等)	1,200 円 × 10.0 人 × 2 人 × 1 回 =	24,000 円	24,000 円
		シンポジウム企画(各各関係調整・事前会議等)	1,200 円 × 10.0 人 × 2 人 × 1 回 =	24,000 円	24,000 円
		展覧会企画(各各関係調整・事前会議等)	1,200 円 × 10.0 人 × 2 人 × 1 回 =	24,000 円	24,000 円
	公開用文章	公開用文章作成(広報、展示解説、ウェブ等)	1,200 円 × 10.0 人 × 1 人 × 1 回 =	12,000 円	12,000 円
	ワークショップ	当日実施	2,500 円 × 6.0 人 × 2 人 × 1 回 =	30,000 円	41,760 円
		当日補助業務(会場整理、ワークシヨップ補助)	980 円 × 8.0 人 × 2 人 × 1 回 =	11,760 円	17,840 円
	シンポジウム	当日進行、運営、会場設置	2,500 円 × 4.0 人 × 1 人 × 1 回 =	10,000 円	17,760 円
		当日補助業務(会場整理、会場設置補助)	980 円 × 4.0 人 × 2 人 × 1 回 =	7,840 円	28,800 円
	展覧会	設営、撤去	1,200 円 × 6.0 人 × 2 人 × 2 回 =	28,800 円	23,920 円
		設営、撤去補助	980 円 × 6.0 人 × 2 人 × 2 回 =	23,920 円	125,440 円
	デザイン	会期中事業案内・解説、監視	980 円 × 8.0 人 × 1 人 × 16 回 =	125,440 円	23,980 円
		チラシA4両面・ポスター・看板	1,200 円 × 20.0 人 × 1 人 × 1 回 =	24,000 円	1,960 円
		入稿作業	980 円 × 2.0 人 × 1 人 × 1 回 =	1,960 円	160,000 円
解費費	謝礼	ワークショップ協力者(アールブリュット作家)謝礼	2,500 円 × 6.0 人 × 2 人 × 1 回 =	30,000 円	40,000 円
		展覧会作品(アールブリュット作家作品)拝借謝礼	5,000 円 × 2.0 人 × 4 人 × 1 回 =	40,000 円	5,000 円
		シンポジウム登壇者(アールブリュット作家)謝礼	2,500 円 × 2.0 人 × 1 人 × 1 回 =	5,000 円	20,000 円
		シンポジウム登壇者(専門家・研究者)謝礼	10,000 円 × 2.0 人 × 1 人 × 1 回 =	20,000 円	5,000 円
		シンポジウム(普及活動実践者)謝礼	2,500 円 × 2.0 人 × 1 人 × 1 回 =	5,000 円	15,000 円
		写真記録(写真家)謝礼	2,500 円 × 6.0 人 × 1 人 × 1 回 =	15,000 円	5,000 円
		映像記録(映像作家)謝礼	2,500 円 × 6.0 人 × 1 人 × 1 回 =	15,000 円	5,000 円
		写真編集(写真家)謝礼	2,500 円 × 2.0 人 × 1 人 × 1 回 =	5,000 円	25,000 円
		映像編集(映像作家)謝礼	2,500 円 × 10.0 人 × 1 人 × 1 回 =	25,000 円	80,000 円
印刷製本費		チラシA4両面カラー	4 円 × 10,000 枚 =	40,000 円	20,000 円
		ポスター-B2カラー	200 円 × 100 枚 =	20,000 円	20,000 円
		看板印刷B0カラー	20,000 円 × 1 枚 =	20,000 円	130,000 円
消耗品費		ワークショップ材料費(支持体、描画材、シート)	100,000 円 × 1 =	100,000 円	20,000 円
		展覧会備品(スチレンボード、金具、額等)	20,000 円 × 1 =	20,000 円	10,000 円
		文具代(インク、用紙、封筒、筆記用具等)	10,000 円 × 1 =	10,000 円	
通信運搬費		チラシ、ポスター配布:市に委託			
旅費交通費		市内のため公共交通機関利用せず			
保険料	保険料	WS活動保険(参加者、スタッフ、事務局等すべて)	50 円 × 80 人 =	3,000 円	3,000 円
直接経費計					720,320 円
経費		(報告書作成業務人件費@980円 × 10時間 × 2人 = 19,600円、賞金作業@980円 × 2時間 × 1名 × 12か月 = 23,920円、プリンターインク6色セット × 1個 = 4,960円、プリンターインク黒単色945円 × 2個 = 1,890円)			49,970 円
合計					770,290 円